

新BOX問題

今後の方針を確認

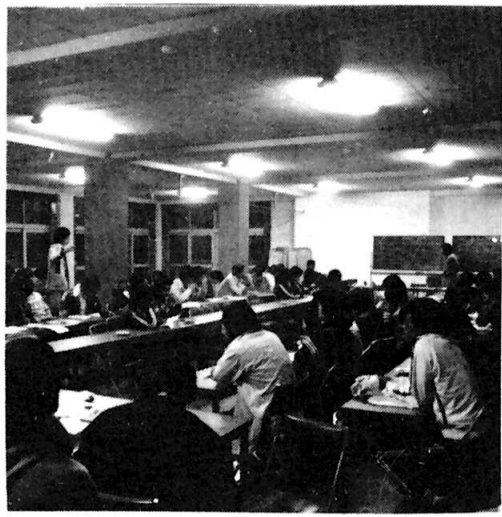
文書による確約を要求する

十月二十九日学館ホールで幹事会が行なわれた。これは、前回(十月二十四日)の幹事会で、学生部が文書化による解答(移転要求決議に対する)は行わないとの態度を示したため、今後当局に対してどういった方針で交渉を行っていくのかという話を話し合うために開かれた。

そして、当面はすべての確認・確約、解答を今後文章化するよう当局に要求して行くことが決定された。

またこの日の幹事会では前回に新聞会から提出されていた原理II「岡大学生新聞」に対する取材協力拒否に関する動議が討論され、以上の要旨の決議が行なわれた。

また、この日「学友会サークル昇格基準」「学友会サークル取り消し基準」が決定された。



十月二十九日学館ホールにおいて幹事会が開かれ、十・四新BOX建設用地移転要求決議に基づき、今後具体的にどのよう当局と交渉を行っていくのかという話が話し合われた。

孤立深める原理研

学友会「岡大学生新聞」に
対し抗議・取材拒否を決議

十月二十九日、学館大会議室で開かれた学友会幹事会に於いて「原理研II」「岡大学生新聞」に対する抗議・取材拒否決議が圧倒的多数で採択された。

この決議は本新聞会が動議として提出したものであり、その主旨は次の通り。

岡大への公然たる再登場をめぐむ統一協会(勝共連合)II原理研は今春、偽装団体として「岡大学生新聞」なるものをデッチ上げた。

そして公認の大学新聞会を装ってサークル・教職員・市民・企業を欺き、記事・広告をかき集めては「岡大学生新聞」を作っている。

我々は原理研の「岡大学生新聞会」(併称とその卑劣な詐欺行為に強く抗議し、今後取材をはじめとする一切の協力を拒否する。

そして主旨説明で現在の全国的学内管理強化攻撃に於いて原理研がその尖兵として働いており、詐欺行為のみならず、学友会がサークル活動を許すための自主的活動を守る為にも彼らの活動を許してはならない事を強調している。

医学部教授会・学友会自治会・寮などからの弾効・取材拒否に続き津島本学の全公認サークル(文化系・体育系計79団体)が属する学友会から弾効・取材拒否を決議されたことにより、原理研はますます追い詰められ、もはや学内での活動は全く不可能になったと言えるだろう。

また十月十九日の中国新聞は全地域紙面に「新参の『大学新聞』が波紋」「公認装い広告集め」本家の新聞会カンカン」という見出しで「岡大学生新聞」に対する批判的な記事を掲載し、今や一つの社会的な注目を集めている。

実際原理研は「岡大学生新聞」2号(七月二〇日付)同3号(九月二〇日付)を学生に全く配布できぬまま発行予定日を大巾に遅れた十月十一日深夜になってアライバイの教官研究室に投げ込むしかなかった。

今後学内より一層原理研弾効の運動を高揚させる

サークル昇格
取り消し基準

十月二十九日幹事会において、「学友会サークル昇格基準」「学友会サークル取り消し基準」が決定された。

この「学友会サークル昇格基準」とよると、団体結成届を提出し三年以上経結した団体がサークルに昇格できる条件となり、サークル昇格後は、二年間幹事会に皆勤した団体のみ予算申請が認められることになる。

また「取り消し基準」は二年度内の幹事会の出席率が五十%以下でその翌年度サークル継続届を出していないサークルが取り消しの対象となるとされている。

そして、この「学友会サークル昇格基準」「取り消し基準」は五十五年四月一日から適用される。

第29回寮祭
医学部鹿田祭
盛大に催される

岡大寮より一足早く寮祭と鹿田祭が行われた。寮祭の成功によって寮生を迎えた第29回寮祭は「絶望を拓く巨大な炎を灯せ」とのテーマを掲げて十月三十一日から十一月三日まで、全男子寮生の手により、多くの学友、教職員の参加をもって勢大に行われた。

この中で二日夜の園遊会が四月以来閉寮となっていた。

またこの日は、新聞会から寮問題に関する決議案を幹事会に提出してもらいたいという総務委員会に対する要望もあった。

また十一月一日から三日には医学部鹿田祭が「熟れすぎたトマトはつぶせ」既成からの脱出」のテーマで行われ、岡本太郎氏の講演会等が好評であった。

た青桐寮の解放を打ち取って行われた事は注目できる。寮祭の成功によって寮生諸君はさらに団結を深め寮攻撃に抗し闘って行くであろう。

また十一月一日から三日には医学部鹿田祭が「熟れすぎたトマトはつぶせ」既成からの脱出」のテーマで行われ、岡本太郎氏の講演会等が好評であった。

新聞会アピール

廃寮決議白紙撤回署名を
全学友の手で展開しよう

それどころか、サークル自治解体・寮関係者の問題にすぎないとする意識が、むしろ強いのではないだろうか。

こういった、学生状況にあって、状況は直視し、状況に切り込み、状況の活性心をはからん

なかろうと、しのびより、学生を侵食せんとしてきているのだ。この状況に、真摯であらんとせよ。大学当局の攻撃を直視せよ。

北津寮の廃寮攻撃が進行する一方、学友会においては、サークルBOXの問題にとり組んできてはいる。しかし、その視点は、

極めてこの当局の攻撃の中にあつて、しかし、学生の側の状況は、学内の全学友が、サークル自治解体・寮自治解体の質を同一のものに見抜き、当局に対して、立ちあがっていく、といったものとはなりえていない。

とするとともに、北津寮の署名活動の根幹がすえられている。大学当局の学生管理強化の突出部分としてサークル・寮の問題が表面化したにすぎず、大学当局の学内治安体制完全確立の魔手は、学生の背後から、学生がそれに対し、意識的であろうと

終始サークルBOXの問題は、個別学友会の問題であるといったものではなかったか。BOX問題を対外的に情宣することもなく、寮闘争にも連帯するしかなかった。この学友会の限界点は、学友会が個々バラバラのサークルの集合体にはすぎないという内部状況によって、学友会自身が、設定したものと異なる。

しかし、学友会がBOX問題に、本質的勝利をおさめんとするものとして、あらねばならぬ。サークルBOX関係者よ、寮闘争を直視せよ。

岡大の帝国主義的再編攻撃を進行する岡大当局に対し、北津寮の提起した署名に、それぞれ立場から参加し、また、それぞれの立場において、署名活動を展開し、反撃の、のろしを、全学的にあげていかんことを、切に訴える。

現在、岡山大学においては、大学当局の岡大の帝国主義的再編計画のもと、サークル自治、解体・寮自治解体攻撃が熾烈を期待される。

現在、岡山大学においては、大学当局の岡大の帝国主義的再編計画のもと、サークル自治、解体・寮自治解体攻撃が熾烈を期待される。

第四回農学部祭 収穫祭 11月15(土)16(日) 於・農学部キャンパス

テーマ 『甦れ、農学生 青春の日』

カブトガニ

運動会 (15日土曜日PM2時 於・農学部グラウンド) 野菜即売会(15, 16)

講演会 「カブトガニの生態と保護について」 (16日PM2時2F1番)

講師・土屋圭示 (笠岡市立カブトガニ保護センター)

映画会 「青春の蹉跎」「禁じられた遊び」(16日AM10時, PM2時3F5番)

寄席・バザー・その他 主催・収穫祭実行委員会